

第1回

省エネルギー行動研究会 シンポジウム

主催 省エネルギー行動研究会
後援(予定) 経済産業省 国土交通省 環境省 一般社団法人 日本エネルギー学会 一般社団法人 エネルギー・資源学会

参加費
無料

(事前申込要)

定員
200名

(申込先着順)

東日本大震災後の電力需給ひっ迫を受けて、国民各層で節電の取り組みが進められており、大きな成果を挙げてきました。今後、節電行動が定着するのか、人々の行動の行方に大きな関心が寄せられています。一方、エネルギーと気候変動（地球温暖化）の問題に対処するため、従来の技術的・工学的アプローチによる対策に加えて、人間の行動に関する科学的知見を政策やサービスに応用し、省エネルギー行動や環境配慮行動を促進する試みが、世界的に盛んになっています。省エネルギーに留まらず、行動科学の成果を政策や商品・サービスの改善に応用する取り組みは今後、我が国でも発展が期待されます。

本シンポジウムでは、米国で2007年から毎年開催されている「行動、エネルギー、気候変動（BECC）会議」の中心メンバーであるスウィーニー教授による基調講演を中心に、省エネルギー行動研究の最新動向をご紹介します。研究者、政府・自治体、企業、団体など、幅広い分野の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時

2014年2月14日(金)

14:00～17:00 (受付開始13:30)

会場

東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館
213 講義室

プログラム

14:00～14:05	開会挨拶 東京都市大学 都市生活学部長 坊垣 和明 氏
14:05～14:20	来賓挨拶
14:20～14:45	講演 「省エネルギー行動研究への期待」(仮題) 株式会社 住環境計画研究所 代表取締役会長 中上 英俊 氏 (総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会 委員長)
14:45～16:20	《基調講演》 ※逐次通訳あり 「世界の省エネルギー行動研究の現状と展望」(仮題) <i>Current State and Prospects of Study on Behavior and Energy Efficiency</i> スタンフォード大学 プレコート・エネルギー効率センター ディレクター <i>Stanford University, Precourt Energy Efficiency Center, Director</i> 教授 ジェームズ・スウィーニー 博士 <i>Prof. Dr. James L. Sweeney</i> Behavior, Energy & Climate Change (BECC) Conference 開催責任者 スタンフォード経済政策研究所 シニアフェロー 国際エネルギー経済学会 (IAEE) 創設メンバー
16:20～16:30	休憩
16:30～16:50	講演「省エネルギー行動研究に学ぶ～BECC 2013参加報告～」(仮題) 東京大学大学院工学系研究科 准教授 前 真之 氏
16:50～16:55	今後の活動について(ご案内) 省エネルギー行動研究会事務局
16:55～17:00	閉会挨拶

申込方法 ご所属、部署名、所在地、氏名、役職、
電話番号、メールアドレスを記載の上、電子メールまたは
ファックスで、下記連絡先までお申込みください。

申込期限

2014年2月7日(金)

※ただし、定員に達した時点で締め切らせていただきます。

連絡先 省エネルギー行動研究会事務局 (株式会社 住環境計画研究所 内)

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井町アーケビル3F
TEL 03-3234-1177 FAX 03-3234-2226 E-mail : beccjapan@jyuri.co.jp